

MSでの出合いが会社を変えてくれた

普及拡大副委員長 横澤清治



「スリープ会員の気持ちも良くなるんだ、自分の自分がそうだったんだから。」

普及拡大副委員長の横澤製作所の横澤と申します。どうぞよろしく願います。

私と倫理との出合いは、5年前の山形新聞に掲載された倫理法人会の広告でした。それまでは全く倫理法人会のことは知りませんでした。当時会長の晋道さんのコメントが非常に心響くものであり、「私も入会してみたい」と思っていたところ、丁度その時に、山形県倫理法人会の佐々木幹事長から入会のお誘いの電話をいただきました。これも何かの縁と思い、すぐに入会いたしました。

い！というようになどんでもない事を言っていました。そんな思いをしながら何か、もやもやしたものを感じておったのです。

しかし、入会したものの約半年間は、全くモーニングセミナーには行かず俗に言うスリープ会員でした。ところがある時、会員スピーチの要請があり布施副会長と共に講話を半分ずつ受け持たせていただくことになりました。その時は高校3年の夏休みに「自転車で東北一周」をした話をさせていただきましたが、それで降次々に、新しい出合いがありました。その出合いがきっかけとなってモーニングセミナーにも少しずつ参加するようになりました。

倫理での学びによる会社内への浸透で良かったことは、毎朝行っている朝礼を「活力朝礼」に変えた事でした。マニュアルを作成して、スタートしましたが当初はなかなか思うようにいかず試行錯誤の毎日でした。そんな時にある若い社員さんが、前日にみっち

り練習をしてきたのだと思いましたが「職場の教養」を元気良く、はきはきとしっかり読んでくれました。一人の社員さんがみんなを一步前に押してくれたのです。それから見る見る変わっていきましました。全員から、やらされていくという気持ちが抜け、自主的にやろうという積極性が生まれてくれたことを大変嬉しく感じました。活力朝礼を行うことで、朝のスタートが大変良くなり、気持ちの入り方が全く変わってきています。

また、お得意様の支援をいただきながら、社内改善活動を展開します。倫理の出会いは通して、同じ製造業のグローバルマシソンさんへ企業訪問に行かせていただきました。工場内の隅から隅までピッカピカなのです。整理・整頓はもちろん、社員の方お一人お一人のキビキビとした行動、大きな声でのあいさつ、全てが新鮮でただただ驚きの連続でした。

5Sの大切さ、大変さを改めて認識させられています。

普及拡大委員会では、毎月一社ずつ会員企業を増やしていくこと、また、会員の方が退会されないように働きかけていくことを大切な目標に掲げています。板垣委員長を筆頭に渡邊・内山両副委員長と力を合わせ必ず目標を達成できるように努力してまいりますので、会員の皆様のご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

最後に趣味は「絵画鑑賞」、「モンテディオ山形の応援サポーター」(J1残留おめでとう!!)、そしてカメラ片手に「年相応の山歩き」を楽しんでおります。同じ趣味をお持ちの皆様！来シーズンのトレッキングには是非お誘い下さい。お待ちしております。

そして会員のみなさん、大いに「倫理」を楽しみましょう。拙い文章におつきあい頂き心より御礼申し上げます。

ありがとうございます!!

12月のMS

●12月5日(土) 第290回
『CSRリーディングカンパニーへの挑戦』
講師:山形ゼロックス㈱ 経営企画室長 本田 厚 様

●12月12日(土) 第291回
『実践の力』
講師:(社)倫理研究所 法人局 普及事業部 北海道・東北方面長 森本 宏 様

●12月19日(土) 第292回
『結成45年 来た道 行く道』
講師:東京ボーイズ 仲 八郎 様

●12月26日(土) 第293回
『アイデア鉄道フラワー長井線』
講師:山形鉄道㈱ 代表取締役社長 野村浩志 様

もうあじ 300回

11月のモーニングセミナー便り

和を以て貴しと為す

(社) 倫理研究所 法人局
普及事業部企画室
研究生 高橋 哲也 様

▼いきなり和が生まれてくることはありません。まず愛情を注いでいって、それがコップからわつとあふれ出たその状態を和であるといえます。▼愛和は本と末、原因と結果の関係にあります。まず、愛というものがあって、その愛が原因となって、その結果和が生まれてきます。この愛もしくは和が社会の、家庭の幸福の元になっていきます。▼和の元になっている愛は、親↑愛↓子と、妻↑愛↓夫の、たてよこ十字の愛和が家庭幸福のもとです。▼そこから例えば夫が職場などで日常的に接していく人々がいまます。社会に飛び出したときに横のつながりができます。そこが愛と和に満ちていったときに、社会一体の幸福が生まれてきます。▼社会の幸福や、家庭の幸福は、人と人とのつながりの中、和がもたらされています。その和は私たちひとりひとりが周りの人に愛情を注いでいくことから始まるのです。

ビジネスとホーヤレの関係

「相手の心を一瞬でつかむ法」

ヘア・ウィズ・ウオーター

店長 赤塚 治美 様

▼相手の心を一瞬でつかむってどうすればいいの？これには色々な方法があると思いますが、ハッとする、へえそうだったのというギヤップ(意外性)が心に残る要因です。意外性は内面と違う魅力です。それを表現してみるのには素晴らしいことです。▼小泉元首相はサマータイプのカラーコーディネートをしていました。グレーのスーツに水色のネクタイ。アクセントは濃い水色が薄い黄色。エレガント、クラシック、ロマンティック、シンプルのイメージです。▼「中身は外見に滲み出る、外見こそがすべてよ。」「つまらない服を着ているとつまらない人生になるわよ。」「感謝の気持ちを忘れると女は牙を剥くわよ。(殿方要注意)」これらはドラマの決め台詞ですが、着飾るのではなく、いかに思いが表現されている服を着ているかですね。

美味いお米を届けるための稲作農家の挑戦

御黒澤ファーム
代表取締役 黒澤 信彦 様

▼国産が来たときに和食を担当するのが「なだ万」です。僕が稲刈りをしているときに「なだ万」から電話があり、指定する期日まで新米を送ってくれませんかと言ってきました。どうしたんですか？と聞いたら、ブッシュが来るからブッシュに新米を食べさせたいという話になって、すごい話をしながら

稲刈りをしているなあと思いました。▼アメリカに渡ったイチローが「おいしいお米食べたいですね」と言っていたんです。日本一の賞もいただいていたので、勝手にイチローが自分のお米を食べたいと言っているかと思いきや、何とか届けたかったのですが、つてが全くありません。苦勞の末に思いが通じて加藤紘一さんからご友人の宮内オーナー経由でそれが実現しました。▼代理人から「お米は責任をもって、イチローに届けました。震えが止まりませんでした。自主トレに呼んでもらって、イチローにお米を渡し、お米の話を聞いて、母校の小中学校へ色紙にサインをもらった時に初めて思いました。お米を作っていてよかった。お米が売れない時に諦めてやめなくて良かった。お米に携わって、お米を作っていないかったら、多分イチローには会えなかったし、バットももらえなかっただろうと。

命にありがとう

栃木県倫理法人会 副会長
学校法人むつみ学園
理事長 小倉 睦美 様

▼誰に預けられてもかわいがってもらえる3つの基本。①好き嫌いをせず何でも食べる。②人の嫌がることは言わない。③体を動かすことを厭わない。▼これらは幼稚園の教育の柱になっています。

感謝の心で

会長の元氣、モチアゲな話

第3回

先週末の連休は、母の三回忌の法要で松山でした。鶴岡での墓参り昼食のあと、久々に顔を会わせた皆で羽黒山の五重塔まで散策をしてきました。高送料金が千円の影響か、大勢の県外ナンバー車で駐車場はごった返して、若いグループの外国人も大勢きておりビックリしたところです。残りわずかの紅葉をあとに、なごらい会場の由良のホテルに移動です。あいにくの天気ですが、冬を迎える海岸線、風の音、波しぶきが心地よく、白山島にかかる赤い橋を眺めていたら、県員大会の講師、南蔵院林覚乗住職の話「我々は元旦の日の出には手を合わせるが、大晦日の夕日に手を合わせる人はほとんどいない」の言葉が思い出されました。

今年も倫理経営講演会、5周年記念講演会、県員大会主幹等歳王での大きな行事が沢山ありました。厳しい情勢の中にあつて、ほぼ予定通りに事業を進められたのは、ひとえに役員、会員の皆様方の熱意溢れるご尽力の賜物と改めて心より感謝申し上げます。またより多くのパワーを戴いたところ。今年も残りあとわずか、1年を振り返り、大晦日の夕日に「今年もありがとう、来年もよろしく」と感謝の心でしっかりと手を合わせられるよう、実践に磨きをかけていきたいものです。敬神崇祖、反始慎終(第13条)の教えが頭を過ったところです。(蔵王会長池田修二)

